

セミナーご案内

輸出入食品の各国基準の表示対応と通関検査の要注意点

輸出食品における各国基準調査から表示作成・チェックまでの実務上のポイント
食品等の輸入通関取組・検査動向、食品衛生法各種通知から見る要注意点

近年、輸出入食品および原材料の増加に伴い、各国の食品等に係わる規格基準の多様さ、基準の改正等から表示・品質等で適正に対応することが難しい状況となっています。このため違反、トラブル等が増え、輸出入食品に係わる業務は先鋭化しています。

今セミナーでは、特に難しい輸出食品について主要各国の化学物質等の規格基準、原材料・添加物の使用基準、食品表示基準などの最新のデータに即応し、違反のない適正な基準対応ができる仕組みを解説します。また、輸入する食品・原材料等においては通関時の検査に該当する微生物や添加物、化学物質、放射線照射食品等の項目について、最近の傾向から特に要注意点をあげ、ポイントを解説する他、食品衛生法各種通知からも要注意点を解説します。

日時 平成29年3月9日(木) 13:15~16:30
会場 薬業健保会館(地下鉄銀座線赤坂見附下車徒歩5分)地図裏面参照
受講料 1人様 15,000円(外税込み) 品質保証研究会会員3名様無料

▼講演1 13:15~14:45

輸出食品における各国基準調査から表示作成・チェックまでの実務上のポイント

- ①各国の化学物質等の規格基準、原材料・添加物の使用基準、食品表示基準の調査方法
- ②対象とする国と対象とする基準による調査の難易度の違い
- ③各国の食品表示作成、チェックをするときの注意点
- ④各国の基準情報を検索できるシステムの紹介
- ⑤各国の基準改正情報把握の課題

ラベルバンク(株) 代表取締役社長 川合 裕之氏

▼講演2 15:00~16:30

食品等の輸入通関に係わる検査について

(微生物、添加物、カビ毒、遺伝子組み換え食品、放射線照射食品、農薬・動物用医薬品、放射能等)
輸入食品等に係わる通関時の検査の該当項目を上げ、その検査内容の特徴・傾向を説明し、食品衛生法各種通知から見る要注意点について解説します。また、輸入手続き等、輸入食品に係わる取組についても解説します。

一般財団法人日本食品分析センター 東京本部 業務二課 課長 吉川 淳氏

品質保証研究会 代表幹事：村元靖郎
事業室 千葉県市原市五井2533-48
電話(村元携帯) 090-6796-6230

品質保証研究会は食品の製造・流通・販売・消費及び製品や原材料、副資材、輸出入食品に係わる安全・品質・法規等の話題・緊急性をテーマにしたセミナーを年7~8回開催しています。年会費は7万円で、会員は1回のセミナーに3名様まで無料参加できます。詳しくはmuramotoyyy@gmail.comまで入会案内を請求して下さい。